

新公立病院改革プランの概要

団体コード	013463
施設コード	002

団体名	八雲町																																																																																							
プランの名称	八雲町病院事業改革プラン																																																																																							
策定日	平成 28 年 3 月 31 日																																																																																							
対象期間	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度																																																																																							
病院の現状	病院名	八雲町熊石国民健康保険病院			現在の経営形態	公営企業法財務適用																																																																																		
	所在地	北海道二海郡八雲町熊石雲石町494番地1																																																																																						
	病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計																																																																																
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること																																																																																
診療科目	科目名	内科、外科、整形外科、小児科、眼科、婦人科(計6科目)																																																																																						
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	<p>少子高齢化が急速に進む八雲町熊石地域(旧熊石町)は、本町地域まで約40キロメートルという遠距離にあり、医療資源や将来見込まれる年齢構成も八雲本町地域と大きく異なっています。熊石国保病院は熊石地域唯一の病院として地域医療の安定確保に取り組み、地域密着型病院としての役割を果たします。</p>																																																																																						
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	<p>地域に密着した病院として、急性期病院と在宅医療の中間施設的な機能、高齢者の急性増悪に対応できる機能、リハビリテーション機能、在宅療養支援機能を有し、他の医療機関や介護福祉施設と連携して地域包括ケアシステムの構築を支えます。</p>																																																																																						
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<p>地域住民が住み慣れた町で快適に生活して、安心して老いて、満足して終焉を迎えられる地域となるよう、医療、介護、保健、福祉が連携して、治し、支える地域包括ケアの中心的役割を担います。そのために、急性期医療と在宅医療の充実と、慢性期医療の確保に努めます。</p>																																																																																						
	③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>繰出し基準に関する総務省通知の考え方を基本とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 病院の建設改良に要する経費(建設改良費、企業債元利償還金等)の2分の1(ただし、平成14年度までの企業債元利償還金等については3分の2)</li> <li>② 救急医療の確保に要する経費(所要額)</li> <li>③ 不採算地区病院に要する経費(所要額)</li> <li>④ 医師及び看護師等の研究研修に要する経費(3分の2)</li> <li>⑤ 共済追加費用の負担に要する経費(所要額)</li> <li>⑥ 児童手当及び基礎年金拠出金に要する経費(所要額)</li> <li>⑦ 医療従事者奨学金に要する経費(所要額)</li> </ol>																																																																																						
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度 (実績見込)</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)医療機能・医療品質に係るもの</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急患者数(人)</td> <td>505</td> <td>532</td> <td>540</td> <td>550</td> <td>570</td> <td>580</td> <td>600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>61</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>55</td> <td>45</td> <td>35</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>往診・訪問診療件数(件)</td> <td>130</td> <td>155</td> <td>160</td> <td>170</td> <td>180</td> <td>190</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2)その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>26年度 (実績)</td> <td>27年度 (実績)</td> <td>28年度 (実績見込)</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>31年度</td> <td>32年度</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	1)医療機能・医療品質に係るもの									救急患者数(人)	505	532	540	550	570	580	600		平均在院日数(日)	61	60	59	55	45	35	30		往診・訪問診療件数(件)	130	155	160	170	180	190	200		2)その他										26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																	
	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																																
1)医療機能・医療品質に係るもの																																																																																								
救急患者数(人)	505	532	540	550	570	580	600																																																																																	
平均在院日数(日)	61	60	59	55	45	35	30																																																																																	
往診・訪問診療件数(件)	130	155	160	170	180	190	200																																																																																	
2)その他																																																																																								
	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考																																																																																
⑤ 住民の理解のための取組	<p>病院運営委員会にて点検と評価 町広報誌及びホームページにて周知</p>																																																																																							

別記1

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標								
	1) 収支改善に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	経常収支比率(%)	95.6	96.2	87.9	88.1	90.6	94.2	97.1	
	医業収支比率(%)	91.0	91.9	82.6	84.6	87.3	90.9	93.8	
	2) 経費削減に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	職員給与費比率(%)	47.1	48.3	56.1	55.6	52.9	50.9	48.7	
	材料費比率(%)	36.8	36.3	37.8	37.9	37.4	35.6	35.0	
	100床当たり職員数(人)	48.3	49.7	57.0	50.0	50.0	50.0	90.0	
	3) 収入確保に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考
	1日当たり入院患者数(人)	52.5	57.0	57.9	55.0	56.0	57.0	58.0	
	1日当たり外来患者数(人)	73.9	72.8	77.4	75.0	75.0	80.0	80.0	
病床利用率(%)	53.1	57.6	57.9	58.0	58.0	58.0	90.0		
4) 経営の安定性に係るもの	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績見込)	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	
(例) 医師数(人)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0		
上記数値目標設定の考え方	プラン最終年度の平成32年度に目標達成を果たすため、年次経過毎に前年度を上回るよう各項目において改善傾向としています。								
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	平成32年度の経常黒字化を目指します。								
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	民間的経営手法の導入	清掃業務、給食業務、警備業務は民間委託実施済み。各部門の生産性向上について見直しと検討を行います。							
	事業規模・事業形態の見直し	許可病床数を60床にします。							
	経費削減・抑制対策	当院の役割と機能を明確にして、必要な看護配置を満たす看護師数、生産性の向上を図る医療従事者数の適正数を配置して人件費の節減を目指します。薬品診療材料について、扱い業者との価格交渉等に積極的に取り組みます。							
	収入増加・確保対策	急性期に対応できるよう、看護配置基準15対1から13対1に引き上げを目指します。長期入院患者の療養に対応できるよう療養病棟への転換を図ります。在宅医療を強化するため、地域包括ケア病棟の導入について検討を行います。							
	その他	研修等による医療スタッフのレベル向上を図ります。経営状況等の情報提供により職員の経営参画の意識向上を図ります。							
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載								

別記1

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の開設・建替等を行う予定がある <input checked="" type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況	熊石国民健康保険病院が所在する八雲町内には、八雲総合病院(347床)、独立行政法人国立病院機構八雲病院(240床)、が開設しており、近隣町には長万部町立病院(54床)、今金町国民健康保険病院(52床)、せたな町立国保病院(97床)、道南ロイヤル病院(174床)が開設されています。
当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>
	未定	北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議にて連携や規模の適正化について検討協議される。
(4) 経営形態の見直し	経営形態の現況 (該当箇所)に✓を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所)に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>
	未定	<内容> 公営企業法全部適用について、開設者、町議会、病院運営委員会等の検討内容を踏まえて結論を得よう努めます。
(5)(都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況		
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	外部委員で組織する病院運営委員会で毎年度の決算に併せて新改革プランの取組状況の点検と評価を行います。
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年9月末までに公表
	公表の方法	町広報誌、ホームページにて公表します。
その他特記事項		